

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	8
1. 理念の共有		1
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を実践するための体制		2
5. 人材の育成と支援		0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		5
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		6
1. その人らしい暮らしの支援		4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		20

事業所番号	1471001162
法人名	有限会社 舞シャンブル
事業所名	グループホーム 舞シャンブル
訪問調査日	平成24年2月28日
評価確定日	平成24年3月31日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について
外部評価は20項目です。
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
[取り組みの事実]
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
[次ステップに向けて期待したい内容]
次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家 族 = 家族に限定しています。
運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471001162	事業の開始年月日	平成16年6月1日	
		指定年月日	平成16年6月1日	
法人名	有限会社 舞シャンブル			
事業所名	グループホーム 舞シャンブル			
所在地	(244-0813)			
	神奈川県横浜市戸塚区舞岡町1273番地			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成23年12月19日	評価結果 市町村受理日	平成24年4月16日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

常に医療行為を必要とされる場合は除きますが、それ以外の方はご家族主治医、看護師の協力のもとターミナルケアを行っております。
慣れ親しんだ場所や環境において、安心した生活をしていただいています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成24年2月28日	評価機関 評価決定日	平成24年3月31日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

①このホームは横浜市営地下鉄舞岡駅から徒歩10分位のところにある。自然に恵まれ、駅から近く、ご家族も訪問しやすいところである。医療連携体制をとり、看護師(週1回)による健康管理と往診医(毎週木曜日)の往診、24時間の管理体制が確立し、ご家族として医療、介護両面で安心な体制となっている。理念は受容・自立が基本で、具体的には利用者が皆楽しく、職員にとっても楽しい職場で、生命を大切に、生活支援をケアの基本と定め推進している。近年、重度化が進み自立が難しい方も多いのが残念であるが、体調の優れない方にはゆったりと、心安く過ごして頂けるケアに努めている。医療の関係では皮膚科・泌尿器科の先生の往診が月1回あり、乾燥肌など高齢者特有の疾患のケアが出来ることも医療面で効果的である。

②介護計画については、個人別の課題の抽出と、出来ること出来ないことシートなどを1枚にまとめた課題収集用シートを出してもらい、利用者毎にカンファレンスでモニタリング、アセスメントを行い、討議して介護計画に組み込むフローで実施している。最終的には、各フロアの計画作成担当者(ケアマネの資格を2人とも持っている)がまとめ、管理者が決定する流れとなっている。介護計画の一連のプロセスを通じて職員のレベルアップと認識の共通化を図るよう指導している。

③職員の教育については、県の代替の派遣要員(介護補助員)を受け入れ、職員に研修参加をさせている。今年度で派遣要員を受け入れは終了するが、職員をフリーにして研修に参加するメリットは大きかった。これら外部研修の他に、カンファレンスでは時間を削って毎回研修を組み込んだ「ミニ研修会」を定着させ、成果が出た。介護補助員の受入れに当たり、業務の流れを知らない介護補助員のための詳細な業務実施マニュアルが必要となり、副次効果としてマニュアルを完備することが出来、ホームにとって良い財産となった。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム 舞ジャンブル
ユニット名	すみれ

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開設当時から理念は変えていないが、家で暮らしていたときと同様にそれまでの地域との関係性が崩れないような生活ができるような配慮をしている。全職員で理念の共有をし、実践に繋げている	理念は受容・自立が基本で、具体的には皆楽しく、職員にとっても楽しい職場で、「生命を大切に」を実現し、生活支援をケアの基本と定めている。常に生活の質の確保を意識してケアにあたっている。カンファレンス等で常に話し合い、特に地域密着型に沿った理念の実現に向けて全職員で取り組んでいる。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方たちのの交流を深められるよう配慮している。散歩中の立ち話であったり、祭りへの参加であったりと、地域の一員として考えるよう交流を続けている	地域のボランティアの方に来て頂いたり、近隣の八百屋さんを利用したり、町内会の祭りに参加する等、を通して地域と交流するよう努めている。盆踊り大会では舞チャンブルのTシャツを着て参加した。また、「虹の家」経由で芋ほりにも参加した。職員は掘るのに大変だったが、利用者は大喜びであった。芋を持って帰る途中、近くの農家から、「ウチでも掘れるよ」と言ってくれた。このような近所とのお付き合いも広がりつつある。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	勉強会を毎年開催し、一般的な認知症のことや高齢者の病気の知識を深めていただきながら、舞チャンブルへの理解も深めて頂いている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的な運営推進会議の開催により、ご家族、地域の方たちの意見を十分に聞き、サービス向上に活かしている	運営推進会議は、町内会長、長寿会（老人会）会長、地域包括支援センターそれにご家族で行っている。ご家族については全員に案内をし、出られる人は全て出て頂いている。この延長線上で家族会が出来ないかと考えている。定期的な開催を通して、ホームの状況の報告や地域での出来事、地域の方やご家族の方の意見を聞きサービス向上に活かしている。東日本大震災以降、防災の話は良く出るようになった。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	横浜市や戸塚区の担当の人と、連絡を取り合い疑問点があれば相談したり、連絡会の集まり等に参加したり、してもらったりと協力関係は良好である	神奈川県、横浜市、戸塚区主催のグループホーム連絡会に参加し、意見交換等を行っている。戸塚区は福祉に熱心であり、地域包括支援センターも協力的で連携が出来ている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束はしないよう心掛けている。玄関の鍵も施錠はしてなく、自由に出入りできている	理念の受容・自立の精神に沿い、全職員が正しい理解と意識を持ち、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。研修では身体拘束による弊害について話している。玄関の施錠はしていない。言葉の問題はカンファレンスや気付いた時に注意を促し、若い職員に改善が見られた。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	十分配慮している		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修にて制度の知識を身につけ、活用できる準備がある		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	理解、納得を得ている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議やケアプラン立案時等、意見や要望が聞けるようにしている。そこで出た意見等を運営や業務に反映している	運営推進会議にはご家族全員に案内をし、出られる人は全て出て頂いているので、運営推進会議で意見を聴いて反映するようにしている。また、面会に来て頂いたとき等にも意見を聴いている。ケアプラン立案時にも意見や要望を聴くようにしている。利用者の意向はC-1-2で収集している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のカンファレンスや、職員から意見があったとき、その都度しっかり話を聞き、働きやすい環境作りに心掛けている	職員の意見は毎月のカンファレンスやアンケート・雑談の中から収集するようにしている。カンファレンスには社長、専務も出席している。職員はアットホームな雰囲気の中で経営に関する意見も自由に発言し、社長、専務も取り入れてくれている。個別面談も併せて行い、個別の意見も聞くようにしている。職員から個別に意見があった時は、その都度しっかり話を聴き、働きやすい環境作りに心掛けている。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業環境を整備することにより、安心して働き、また長く働けるよう努力している		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修への参加やOJTによりケアの向上に努め、力量も把握している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域や同業者との研修、交流会等があるときには、積極的な参加を促している		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の意向に沿うよう配慮しながら、不安なことや要望に応えるよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族からの相談や入居時等で、なるべく不安なことが解消されるように努めている。また、要望等にも応えられるよう努力している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所申し込みの時点で、ホームでの生活がベストなのか、他のサービスが良いのか、ご家族と相談し、今後の生活の場を考えている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の方から教えられることもたびたびあったり、出来ないことをお手伝いしたり、ホームで一緒に生活しているような感覚で良い関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との協力のもと、利用者本人がより良い生活ができるよう配慮している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や電話があった時など、支援している	ご家族や本人の希望する面会者や、電話を掛けてきてくれる方との関係が維持できるよう、必要に応じて職員が間に入ったりして支援している。入所の際、面会制限が必要かを伺っており、面接に見えた時は確認する配慮をしつつ、関係の維持に支援している。最近は近所の方の入所も多く、友人の訪問もある。誕生日外出で希望の場所に行ったケースもあった。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は会話の橋渡しをしたり、利用者同士良い関係が続くよう支援している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も、連絡を下さる家族の方もいるし、年賀状などを通して関係が続いている方もいる		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	希望にこたえられるように心がけている	個人別の課題の抽出と、センター方式C-1-2用紙により課題を収集し、ご家族にも希望や意向を聴きながら検討している。困難な場合にはご本人との、より多くコミュニケーションを取り情報把握に努めている。会話の中で発した言葉は「 」付きで記録に書き込むようにしている。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時の聞き取りの他に、入所後も普段の話の中から生活歴や今までの生活環境を聞き、舞シャンプルでの生活も安心して過ごせるように努力している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	全職員が意見を出し、必要であれば医師や看護師との話し合いをし、ご家族には文書になってしまうことが多いが意見を聞かせていただき、介護計画を作成している	計画作成担当者を中心に、課題収集用紙（アセスメントシート）により各職種合わせて、利用者毎にモニタリングを行っている。課題収集用紙はペンの色を変えて記入し、3ヶ月、6ヶ月、9ヶ月、12ヶ月をこの1枚で行うため、ADLの低下状況などの変化も一目で分かるようになっている。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に記録を残し、少しの変化でも記入している。職員間では口頭での申し送りの他に連絡帳も活用し情報の共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	心掛けている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を活用しながら、楽しんだ生活ができるよう支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者個人個人のかかりつけ医があり、適切な医療が安心して受けられるようになっている。	本人及び家族等の希望を大切にし、従来の主治医を尊重するようにしているが、通院介助の難しさもあり、家族の希望で殆どがかかりつけ医を受診している。内科は週1回（木曜日）、内科・泌尿器科は月1回、看護師は週1回来てくれている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	随時、看護師と連絡を取り必要があれば、その都度訪問してもらい直接見てもらえるようになっている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	密に病院関係者との連絡を取るようになっている。また、病院主催の研修会や懇談会には積極的に参加し、話がしやすくなるよう心掛けている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	舞シャンプルや往診で出来ること出来ないこと、ご家族にご協力いただきたいことを明確にし、少しでも安心した生活が送れるよう支援している	舞シャンプルや往診で出来ること出来ないこと、ご家族にご協力頂きたいことを明確にし、ご家族とも何度も話し合いの場を設け、少しでも安心した生活が送れるよう支援している。極力、ご家族の希望に沿うように対応しているが、医療的な問題があり、終末期の前には医師、ご家族との3者で話し合うことにしている。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	随時、研修を行い少しずつ実践力の向上に繋がっている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域との合同の避難訓練の計画を少しずつ実行に移せるよう準備している。また、消防署との合同の避難訓練や舞シャンプル独自の避難訓練は定期的に行っている。	地域との合同の避難訓練の計画を少しずつ実行に移せるよう準備している。また、消防署との合同の避難訓練や舞シャンプル独自の避難訓練は定期的に行っている。スプリンクラー、自動通報装置は設置済みである。東日本大震災以降、米、水、缶詰、クラッカー、衛生材料などの備蓄を行っている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その人、その人に合った言葉かけや対応には十分配慮している	一人ひとりの人格が尊重できるよう、入所ご家族、本人に頂いた情報を共有し、一人ひとりに合った言葉かけや対応に十分配慮している。トイレ誘導時や入浴時等の声掛けも工夫している。個人的な相談には、居室で行うよう配慮している。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	選んでいただけることに関しては、いくつかの選択肢を用意するなどして自己決定できる能力を生かしていただいている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調や、気分に応じて柔軟に対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合わせた服装や、その人らしい服装を一緒に選んでいる。また、選べない人には職員が手伝っている。男性であれば髭剃りや、女性の化粧水、化粧道具も必要に応じて準備している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備や片付けも、出来る方にはお手伝いして頂きながら、食事を食べるだけではなく食事全般が楽しみになるよう心掛けている	日本給食のレシピ付き食材を入れているが、食事が美味しいと評判が良い。準備や片付けも、出来る方にはお手伝いして頂き、食事を食べるだけではなく食事全般が楽しみになるよう心掛けている	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスの取れた食事を3食、きちんと摂っていただいている。水分量や食事が少なくなってきた時は、細かに摂取量を記録し体調管理している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	必ず、毎食後の口腔ケアを行っている。汚れが落ちていないときには、職員がお手伝いさせていただいている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	常時オムツを使用している人であっても、トイレに座っていただいて排泄してもらおうよう心掛けている	排泄のリズムを掴み、自然に排泄できるよう努力している。常時オムツを使用している人であっても、トイレに座って頂いて排泄してもらおうよう心掛けている。安眠と声掛けの按配についても、職員と話し合っている。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	腸の動きを良くするために、毎日ヨーグルトを食べていただき、排便の間隔を常にチェックしている。また、体操や歩行訓練でなるべく体を動かしていただいている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ある程度、入浴日を決めてはいるが、その日のご本人の状況に応じて臨機応変に対応している	ある程度の曜日は決めているものの、希望があれば入浴できる仕組みになっている。週3回は入浴して頂けるよう支援している。重度の方が多いため、個々の希望は無く、2人介助も多いが、清潔の保持に努めている。ミスト浴があり、湯船に入らない方には足湯と併用する等、活用しながら支援している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜、ぐっすり眠ることはもちろんのこと、日中も休息を取る時間も設けたりと、安心して生活していただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師から処方された薬に関して、必ず職員が目を通して通している。また、すばやく症状の変化に気づけるように日ごろから様子観察をさせていただいている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活が単調になりがちなので、張り合いのある生活ができるような支援をしている。ご本人の力が発揮できるような作業を手伝っていただいている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お誕生日には、希望する外食や外出の支援している。その日の状況に応じて散歩やドライブするようにしている	誕生日には希望を聞き、出かけたり、出前を取ったりしている。その日の状況に応じて散歩やドライブに出かけるよう支援している。地域の行事へ参加したり、ご家族に協力を得て外出できるようにしている。散歩も自立の方、車椅子の方を分けるなど、実情に合わせた工夫もしている。保育園、生協、港南台、フラワーセンター等にドライブに行っている。ホームには、車椅子対応の車が2台ある。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人が管理できる場合には、個人のお財布で管理している。また、買い物に行くと その財布から支払いをしている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	固定電話や携帯電話を使い、希望の人へ繋がるよう支援している。散歩の途中に手紙を投函したり、職員が預かりポストへ入れたりしている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花やタペストリー等を飾り、季節感を出すよう工夫している。また、音や光にも配慮している	季節にあった花を生けたり、字の大きい手作りカレンダーを掛けたり、利用者の集まる所の明るさや温度に気配りをしている。リビング・ダイニングのスペースは広く、ゆったりしており、ソファの置き方に工夫し、複数設置することで個人の空間が持てる工夫をしている。壁のタペストリー、お花などで季節を感じて頂いている。絵の得意な職員が利用者との共同作業の壁画の下絵を描いている。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファで談笑する方もいれば、各居室に戻りテレビを見たりと自由に過ごせるよう配慮している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを居室内に入れて頂いたり、使い易くご本人の好みに合うようなものに工夫している	入居時、本人やご家族と相談し、居室の家具の配置を行っている。また、使いやすいように配置出来ている。居室の清潔については、職員がメインで利用者が手伝って掃除をしている。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室内をスムーズに動けるように、家具等の配置を考えたり、共有部分には適所に手すりを付ける等の工夫をしている		

事業所名	グループホーム 舞ジャンブル
ユニット名	れんげ

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開設当時から理念は変えていないが、家で暮らしていたときと同様にそれまでの地域との関係性が崩れないような生活ができるような配慮をしている。全職員で理念の共有をし、実践に繋げている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方たちのの交流を深められるよう配慮している。散歩中の立ち話であったり、祭りへの参加であったりと、地域の一員として考えて頂けるよう交流を続けている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	勉強会を毎年開催し、一般的な認知症のことや高齢者の病気の知識を深めていただきながら、舞シャンブルへの理解も深めて頂いている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的な運営推進会議の開催により、ご家族、地域の方たちの意見を十分に聞き、サービス向上に活かしている		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	横浜市や戸塚区の担当の人と、連絡を取り合い疑問点があれば相談したり、連絡会の集まり等に参加したり、してもらったりと協力関係は良好である		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束はしないよう心掛けている。玄関の鍵も施錠はしてなく、自由に出入りできている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	十分配慮している		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修にて制度の知識を身につけ、活用できる準備がある		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	理解、納得を得ている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議やケアプラン立案時等、意見や要望が聞けるようにしている。そこで出た意見等を運営や業務に反映している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のカンファレンスや、職員から意見があったとき、その都度しっかり話を聞き、働きやすい環境作りに心掛けている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業環境を整備することにより、安心して働き、また長く働けるよう努力している		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修への参加やOJTによりケアの向上に努め、力量も把握している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域や同業者との研修、交流会等があるときには、積極的な参加を促している		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の意向に沿うよう配慮しながら、不安なことや要望に応えるよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族からの相談や入居時等で、なるべく不安なことが解消されるように努めている。また、要望等にも応えられるよう努力している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所申し込みの時点で、ホームでの生活がベストなのか、他のサービスが良いのか、ご家族と相談し、今後の生活の場を考えている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の方から教えられることもたびたびあったり、出来ないことをお手伝いしたり、ホームで一緒に生活しているような感覚で良い関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との協力のもと、利用者本人がより良い生活ができるよう配慮している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や電話があった時など、支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は会話の橋渡しをしたり、利用者同士良い関係が続くよう支援している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も、連絡を下さる家族の方もいるし、年賀状などを通して関係が続いている方もいる		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	希望にこたえられるように心がけている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時の聞き取りの他に、入所後も普段の話の中から生活歴や今までの生活環境を聞き、舞シャンプルでの生活も安心して過ごせるように努力している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	全職員が意見を出し、必要であれば医師や看護師との話し合いをし、ご家族には文書になってしまうことが多いが意見を聞かせていただき、介護計画を作成している		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に記録を残し、少しの変化でも記入している。職員間では口頭での申し送りの他に連絡帳も活用し情報の共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	心掛けている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を活用しながら、楽しんだ生活ができるよう支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者個人個人のかかりつけ医があり、適切な医療が安心して受けられるようになっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	随時、看護師と連絡を取り必要があれば、その都度訪問してもらい直接見てもらえるようになっている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	密に病院関係者との連絡を取るようになっている。また、病院主催の研修会や懇談会には積極的に参加し、話がしやすくなるよう心掛けている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	舞シャンプルや往診で出来ること出来ないこと、ご家族にご協力いただきたいことを明確にし、少しでも安心した生活が送れるよう支援している		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	随時、研修を行い少しずつ実践力の向上に繋げている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域との合同の避難訓練の計画を少しずつ実行に移せるよう準備している。また、消防署との合同の避難訓練や舞シャンプル独自の避難訓練は定期的に行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その人、その人に合った言葉かけや対応には十分配慮している		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	選んでいただけることに関しては、いくつかの選択肢を用意するなどして自己決定できる能力を生かしていただいている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調や、気分に応じて柔軟に対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合わせた服装や、その人らしい服装と一緒に選んでいる。また、選べない人には職員が手伝っている。男性であれば髭剃りや、女性の化粧水、化粧道具も必要に応じて準備している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備や片付けも、出来る方にはお手伝いして頂きながら、食事を食べるだけではなく食事全般が楽しみになるよう心掛けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスの取れた食事を3食、きちんと摂っていただいている。水分量や食事量が少なくなってきた時は、細かに摂取量を記録し体調管理している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	必ず、毎食後の口腔ケアを行っている。汚れが落ちていないときには、職員がお手伝いさせていただいている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	常時オムツを使用している人であっても、トイレに座っていただいて排泄してもらうよう心掛けている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	腸の動きを良くするために、毎日ヨーグルトを食べていただき、排便の間隔を常にチェックしている。また、体操や歩行訓練でなるべく体を動かしていただいている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ある程度、入浴日を決めてはいるが、その日のご本人の状況に応じて臨機応変に対応している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜、ぐっすり眠ることはもちろんのこと、日中も休息を取る時間も設けたりと、安心して生活していただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師から処方された薬に関して、必ず職員が目を通している。また、すばやく症状の変化に気づけるように日ごろから様子観察をさせていただいている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活が単調になりがちなので、張り合いのある生活ができるような支援をしている。ご本人の力が発揮できるような作業を手伝っていただいている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お誕生日には、希望する外食や外出の支援している。その日の状況に応じて散歩やドライブするようにしている		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人が管理できる場合には、個人のお財布で管理している。また、買い物に行くと その財布から支払いをしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	固定電話や携帯電話を使い、希望の人へ繋がるよう支援している。散歩の途中に手紙を投函したり、職員が預かりポストへ入れたりしている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花やタペストリー等を飾り、季節感を出すよう工夫している。また、音や光にも配慮している		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファで談笑する方もいれば、各居室に戻りテレビを見たりと自由に過ごせるよう配慮している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを居室に入れて頂いたり、使い易くご本人の好みに合うようなものに工夫している		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室内をスムーズに動けるように、家具等の配置を考えたり、共有部分には適所に手すりを付ける等の工夫をしている		

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム 舞シヤンプル

作成日

平成24年3月1日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		近隣住民の方と一緒に防災訓練をしたことがない	近隣住民の方と一緒に防災訓練を実施する	運営推進会議を活用し、町内会長に計画内容を理解して頂き近隣住民の方に直接依頼済。今年度は具体的な日程と内容を立て依頼する。	1年
2		家族会が未実施である	家族会を発足する	運営推進会議にてご家族には伝えてあるが、特に意見は聞かれなかった。今年度は1度実施し今後の開催について意見を徴収する	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。